

思いやりの心で活動を

心構えやマナー 中高生事前研修

午前、午後に分けて 議会の職員が、ボランティア活動の心構えや席した。オリエンター マナーなどを説明。自分でほしい」と呼び掛

に在住、在学の352人から応募があり、市内の67施設・団体が1日2週間程度受け入れられる。27日には玉野高校で、今回出席できなかった87人を対象とした研修会がある。

(正本和臣)

議会主催)の事前研修会が24日、市立図書館・中央公民館で開かれた。参加予定の生徒が活動の心構えなどを学んだ。

夏のボランティア体験事業



福祉施設の職員から実際の仕事の様子について説明を受ける参加者

福祉の仕事の紹介では、羽島保育園(倉敷市羽島)と総合ケアサービスセンターかつた(美作市大町)の職員が、それぞれの施設の業務内容など具体的に話した。「保育園では、子どもの安全のために掃除をすることが多い」「世話をするお年寄りに、お礼を言われると何よりうれしい」などといった説明に、生徒たちは興味深そうに聞き入っていた。

続いて生徒は、受け入れ先となる高齢者施設や幼稚園、保育園などと訪問日時を調整。高齢者福祉施設・さく

らのさく郷(八浜町大崎)を訪れる八浜中学校3年佐藤ひかりさん(14)は、「活動を通して、お年寄りと上手にコミュニケーションが取れるようになった」と話した。

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。